

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	住み慣れた場所を離れ不安な気持ちを、少しでも和らげていってそこで、自分の場所を見つけて生きていける環境を、みんなで創りあげていくことを基本として、運営している
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	日々のケアの中でも、理念の実践は行われており、全体としては基本的な取り組みは行われている
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	地域の方々とは、物品の差し入れを頂いたり、散歩時気軽に話しかけてくれるような馴染みの関係ができており、今後も、継続して行っていきたい
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	気軽にドアを開けて訪問してくれるような、近所との関係ができてきており、今後も引き続いての日常のお付き合いを継続していきたい
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>管理者が、地域の老人会に参加し、生活面での不安や悩みの相談に応じている</p> <p>老人会の人や、ホームに遊びに来たときには、スタッフも同様の対応をしている</p>	○	<p>今後も継続して行っていくと共に、他に何か地域の老人のために役立つ事がないかを話し合っ取り組んでいきたい</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己及び外部の評価の実施についての理解はしている</p>	○	<p>評価の結果だけを重視するのではなく、評価をしなくても、自信をもってやっていけるだけのスキルを、全員が身につけていけるように、定期的な勉強会を施設内において実施している</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>職員同士での、サービス提供方法にズレが生じた場合などは話し合いの中で、どの方法がベストなのかの意見交換を行い、サービス向上に役立っている</p>	○	<p>いろんな観点から考えて、更なるサービス向上に努めていきたい</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>区役所の支援課には、少なくとも月に1回以上は出向いており、又、支援課からの来訪を受けるなど、情報交換は比較的密に行っている。</p> <p>それにより、改善できる部分は改善して行けるように検討、取り組みを行っている</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の方のなかで、個々に必要であると認めたときには、相応の対応を考え支援していく準備はある</p>	○	<p>ホームとしては、金銭管理面においても、対象者には、あんしんサポートを利用してもらうような働きかけを行っているが、成年後見人制度については、今後の検討課題である</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待関連の研修会や勉強会には出来るだけ参加しており、虐待について知識を持って、防止に努めている</p>	○	<p>現状、当ホームでは、虐待については徹底しており、日々のケアの中でも職員同士がお互いに注意を払っており、今後も継続して防止に努めていきたい</p>

グループホーム みんなの家(1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時、書面による説明に加え、現状のホームのあり方やケアの内容、緊急時の対応などについても具体的に説明し理解納得のうえで契約締結を行っている</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置して、自由に投稿できるような環境を整えている 直接の苦情・不満などについては、軽微なことはその都度改善していくよう徹底していつている</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>日頃の暮らしぶりや、金銭の収支報告などは、毎月定期的に行っている 面会時には、個々の方の疑問などにも対応している</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置して、自由に投稿できるような環境を整えているが、現時点で、投函は1件もない 面会時などに、要望などを聞くことがあるが、随時対応している 外部への苦情窓口は、重要事項説明書に記載している</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員からの意見や提案などは、比較的聞く機会が多くあり、その都度検討して、運営に反映させるように努めている 同じ地域内に居住する職員からの情報は、あらゆる面で活用している</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>人員が少ない時や、夜勤帯の一人対応時の緊急時には、職員の確保ができるような体制はつくっている</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職は、ほとんどないが、新しいスタッフに対しては、入居者の方々が不安を覚えないように配慮している</p>	

グループホーム みんなの家(1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修や、認知症介護実務者研修など、段階に応じた研修を受ける機会を確保し、実施している</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修などにより、交流を持ち、お互いの指針などについての意見交換などで情報の擦りあわせをしている</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩は、同じフロア内ではない場所でもとってもらい、僅かの間でも開放感に浸れるような環境を整えると共に、不満などは溜め込まないよう、なるべくこちらからの話し掛けで引き出していったり、随時解決していくよう心掛けている</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>経験を重ねることによって、得られる資格の取得などの勧誘や研修会への参加などを積極的に行っている 施設内の勉強会を定期的に行い、各自が向上心をもてるような取り組みを行っている</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前の本人との面接は、何回かに分けて行い、本人からの訴えに関しては、入居後、可能な限り実現できるような配慮は行っている</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時、ご家族様からの要望などを聴く機会を多く持ち、不安を取り除くよう努めている</p>	

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険上の他のサービスは含めていないが、医療との連携やご本人やご家族の意向を知り、支援方法を決定し了解を得ている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	リロケーションダメージに配慮し対応している また、観察や対応を強化し「その人」を知ることに努め、スタッフが周知できるよう記載し随時検討している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	尊厳を大切にしながら支援し、共に歩み、共に生きることで、利用者の方々から学ぶことも多く、共感を持って接することで、信頼関係を築いている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の不安などに対しても傾聴し検討しながら、一緒に本人を支えていく関係を築いている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者の方々各人とそれぞれのご家族様との関係は理解し、面会の依頼をしたりして、よい関係が築いていけるよう支援しているし、本人の現状などについては、定期的に伝えている		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前の友人の面会なども途切れないよう支援している 本人の希望により連絡をとる際には、援助している		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	人間関係の把握に努め、孤立することがないように対応している 利用者間では、支えあっている体制ができている		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居時には、必ず情報提供を行い、退居後も必要に応じて相談に応じている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	3ヶ月ごとにセンター方式などにて、アセスメント、ケアプランを作成している 可能な限り、ご本人の意向や思いに気が付くよう、日々の記録にも記載している		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様にも協力を依頼し、出来る限り理解するように努めている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の記録にて、出来る事、出来ない事を記載している。 又、身体と精神の状態を分けて記載し、スタッフ全てが状態の共有に努めている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の気づき、記録のほか、日々の利用者の方々との会話を傾聴し、それらを基に分析し、関係者との話し合いを行ったうえで介護計画を作成している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的に見直しを行い、内容に変化が生じた場合は、随時、計画書を作成して現状に即したものを作成している		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録には、どんな些細なことでも記録して、スタッフ全員で情報の共有を図り、必ず実践に活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	要望があれば、ご本人の状況に応じて随時検討し、ご家族様にも報告して協力を仰ぎ、出来る限りの支援を行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向に対しては随時対応し、可能な限り地域資源を利用し最低限必要な部分においても、地域の担当者や自治体との連携を図り協力を得ている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームという施設の性質上、介護保険上の他のサービスを受ける事は困難であるが、地域の他事業のケアマネジャーや施設長との連携を図り、他の施設での催しなどへは参加している		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの連携についての情報は得ているが、協働にまでは至っていない	○	今まで必要性があまりなかったというのが現状であるが、今後検討していく課題ではある
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様も納得のうえで、かかりつけ医への情報提供は定期的に行い、病院との連携も常に図り、それぞれの利用者の方々に応じた適切な医療が受けられるようにしている		

グループホーム みんなの家(1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	今後、この経験を基に検討会などでの強化を図ってきたい
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

グループホーム みんなの家(1)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の誇りやプライバシーには常に配慮し、対応している 個人情報に関する資料などは、事務所の書庫に入れて、簡単に他人の目に触れないような配慮を行っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	自己決定できる生活支援を心掛けている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各人のペースを大切にし、希望に沿った支援している	○ その人らしい暮らしについて対応はしているが、マイナスになる事に対しては、今後も「その人」の真の姿や生活歴なども理解した上で検討していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	好みの服などは、各自が選んで更衣しているが、理容・美容に関しては、店が遠い、値段が高いなどの理由により、訪問美容室を利用している。髪形などは、ご本人の意向に任している。	○ 新しい衣類などは、直接店頭に行けない人でも、施設内で準備したものを各自の好みで選んでもらえるような「施設内店舗」を不定期ではあるが開設して、選ぶ楽しみができるような体制を作っていくことを検討している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食したいもののアンケートをとり、随時希望の献立を考えて作るようにしている。 食事の準備、片付けなども出来る事は積極的に参加してもらい、職員と共に協力しあっている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒に関しては、Drストップとなっている人も多く、ホーム内では飲酒を望む方はいない。 他の嗜好に関しては、各自楽しめるように支援している	

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄記録表などにより、各自の排泄パターンを把握したうえで、定期的に声かけを行いトイレに誘導するように心掛けている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、なるべく利用者の方の希望に添うようにしているが、一番風呂に入りたいと言う希望は重複する事が多く、必ずしも毎回かなえてあげられない状況にはある。入浴拒否の方に対しても、声かけなどに工夫して、最低でも週2回は入浴してもらうよう支援している		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼夜逆転する人に対しては、その原因究明と解決策を随時、検討しながら眠剤に頼らない生活習慣を支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	各自の希望を配慮し、応じる事ができるように検討している。日常生活の中で、出来る事や出来そうな事に関しては参加してもらい、出来ない事でも負担にならないように配慮しつつ支援して行きながら、蔓延とした日々を送る事がないように支援している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	限られた方々ではあるが、お金を管理できる方に関しては、少額を所持してもらい必要に応じて使えるような体制にしている。ご家族様には、片付けた場所を忘れてたり、紛失の可能性もあることも理解してもらい、協力を仰いでいる		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩を日課としているが、強制することなく各自のその日の体調や希望に沿って、出かけるように配慮している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族様の支援協力を得られる方に対しては、ご本人の希望を伝え外泊、外出の機会をつくるようにしている。家族様のいない利用者の方については、事業所の方で本人の希望に沿うよう検討し、実施できるような支援を行っている	○	限られた職員数なので、家族様のいない利用者の方々については頻繁には実施できないが、もう少し回数を増やすために検討している

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望に応じて、支援している。 要望の訴えが出来ない利用者の方には、こちらから電話をかけて会話をしてもらうように支援している	○	今後も同様に支援していきたい。 また、ご家族様へは、手紙を書いてほしいことも伝えるが、なかなか協力を得られない為、今後も働きかけたい
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は、いつでも自由で、面会時には居室でゆっくり過ごしたり、他の入居者の方々とリビングでお茶を飲みながら、談笑を交わしたりと和やかに過ごしてもらっている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束防止の対象となる具体的な行為について、職員全員が理解し、身体拘束をしないケアを実践している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現状、日中は施錠していない。 外へ出ようとする入居者があれば、随時対応している		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のプライバシーを損なうことなく、日常の様子などの把握に努め、安全で安心な生活を送れるよう心がけている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	鋭利な物品などはホームが責任を持って保管・管理しているが、爪きりなど比較的安全な物に関しては、管理できる状態の入居者は自ら保管している	○	自ら保管できる状態と言えども、職員がさりげなく注意しておくような配慮は今後も継続して必要である
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	それぞれの職員が周知し、事故を起こさないように対応している ヒヤリハットや事故報告書を活用して、都度、周知徹底を図っている		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ほぼ全員のスタッフが、普通救命の講習を受講している 疑問や不安が生じた場合は、主治医や看護師に、都度指導を受けたりして、職員全員が対応できる体制を整えている		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災や災害に関しては、消防署や警察署の指導のもとで、訓練の実施を行い、職員には避難経路及び避難場所の周知を図っている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時に、今後起こる可能性の高いリスクをご家族様へは説明し、ホーム内での対応方法も理解してもらっている 入居中の状態の変化に伴うリスクについては、随時ご家族様に連絡して対応方法を検討している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日々、身体・精神の状態は細かく記録することによって早期発見できる体制にしている それにより、体調の変化が発見された場合は速やかに主治医やホーム看護師に報告し、指示を仰げる体制は整えている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬一覧の文書により、周知している 服薬は、主治医の指示通りに対応しており、症状の変化の確認は日々のケアの中で随時行っている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便は、排便記録表により管理し、職員は利用者の方の排便状況を掌握している 日々の食材により、便秘の解消に努め、ラジオ体操などにより適度な運動を心掛けている。それでも排便状況の悪い利用者の方には個別にて対応の処置をとっている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは習慣化している 希望者や必要である人については、月に1回口腔内の掃除を歯科医により行っている		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー計算された食事を提供し、食事や水分摂取量は、日々の記録に残している 普通食を食せない利用者の方には、その人の状態に合わせた食事を提供している		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防に関するマニュアルがあり、インフルエンザ予防接種は毎年、ご本人・ご家族様の了解のもとで実行している 他の感染症については、予防のための研修に参加したり、手洗いや毎食時の消毒は慣例化している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・ふきんは都度除菌を行い、食品に関しては、賞味期限の確認や管理を徹底している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、手作りの「welcome」プレートを設置して、温かさを演出している。 施錠していないため、マンション住民の方も気軽に立ち寄ってくれる		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに、入居者の方、職員一同による手作りのものを作成し、壁に張り付けて、季節感を漂わせるよう努めている 常に明るい雰囲気を出して、不快な気持ちを持たないよう配慮している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓に座りたくない人は、ソファでくつろいでもらうように配慮し、気のあった利用者同士では、各自の居室を訪問しあったり、思い思いの過ごし方ができるようにしている		

グループホーム みんなの家(1)

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、必ずご本人様のお気に入りの物を何点か持ち込んでもらい、家具や調度品などについても、使い慣れた物を設置して、従来の生活と違和感のないような配慮をしている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	快適に過ごしてもらえるように、温度計・湿度計を設置して管理したり、適度に窓を開放して空気の入替えなど配慮している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内は、バリアフリーで、各所に手摺りを設置して不安のない生活が送れるよう配慮している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員は、一人ひとりの出来る事、出来ない事を把握しており、その人にあつた対応で、混乱が生じないような対応を行っている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	マンション内の設置がら、庭もなくベランダも狭い為毎日の散歩の中で、周辺に咲く草花の観賞を楽しめるような配慮を行っている また、屋上に菜園を設置しており、可能な人には、お花づくりなどを楽しんでもらえるようにも配慮している		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム みんなの家(1)

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設してまもなく丸4年になりますが、「みんなで創る」という理念のとおり、地域に溶け込み、地域に根付く新しい家族づくりを目標に、利用者の方々並びにご家族様、職員が一緒になって日々努力してまいりました結果、今では、すっかり地域の方々とも馴染の関係ができ、理念通りの理想の家族の形が、できていると自負しております。
今後も、この形を維持しながら基本姿勢を崩すことなく、向上心を持って取り組んでいきたいと思っております